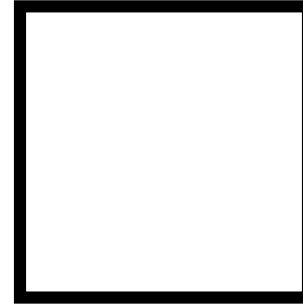
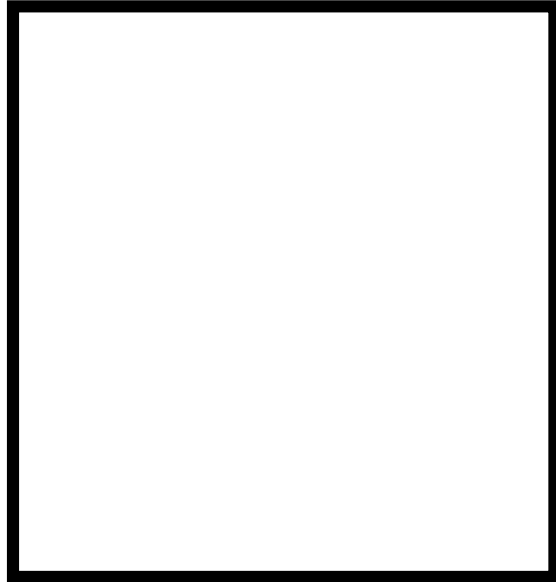


物質をつくっているもの

松山市立桑原中学校
2年生理科 学習支援web資料

1枚の紙を半分に切る、さらに半分、また半分……繰り返すと、どうなるのか？



最後に、何か残るのか？
残らないのか？

物質をつくる小さな粒子

銀の表面を超高倍率の電子顕微鏡で見ると・・・

「黒い小さな粒のようなものが見える」

この小さな粒子を**原子**という。

1円玉には何個の原子があるの？



1円硬貨1個に

約22,000,000,000,000,000,000,000
個もの

アルミニウム原子がある。

これでも1gにしかない。

→原子はとても小さくて

軽いことが分かる。

原子を発見した科学者

ドルトン(イギリス)

- ①化学変化によって、原子はそれ以上に分割することができない。
- ②原子の種類によって、質量や大きさが決まっている。
- ③化学変化によって、原子がほかの種類原子に変わったり、なくなったり、新しくできたりすることはない。

ドルトンの「原子説」

原子を記号で表す（共通言語にする）

現在、約110種類の原子が発見されている。

それらの原子は、

すべてアルファベット1文字か2文字の記号で表せる。

(例)「鉄」原子なら・・・ 読み方はそのまま「エフ・イー」と読む

Fe

1文字目は大文字 2文字目は小文字

その他の原子の記号

○日本語と記号を合わせて覚えよう。(先日配付の練習プリント参照)

○原子番号の順に並べて、原子の性質を整理した表

周期表があります。こちらも見てください。

(縦の列に化学的性質のよく似た原子が並んでいる。)